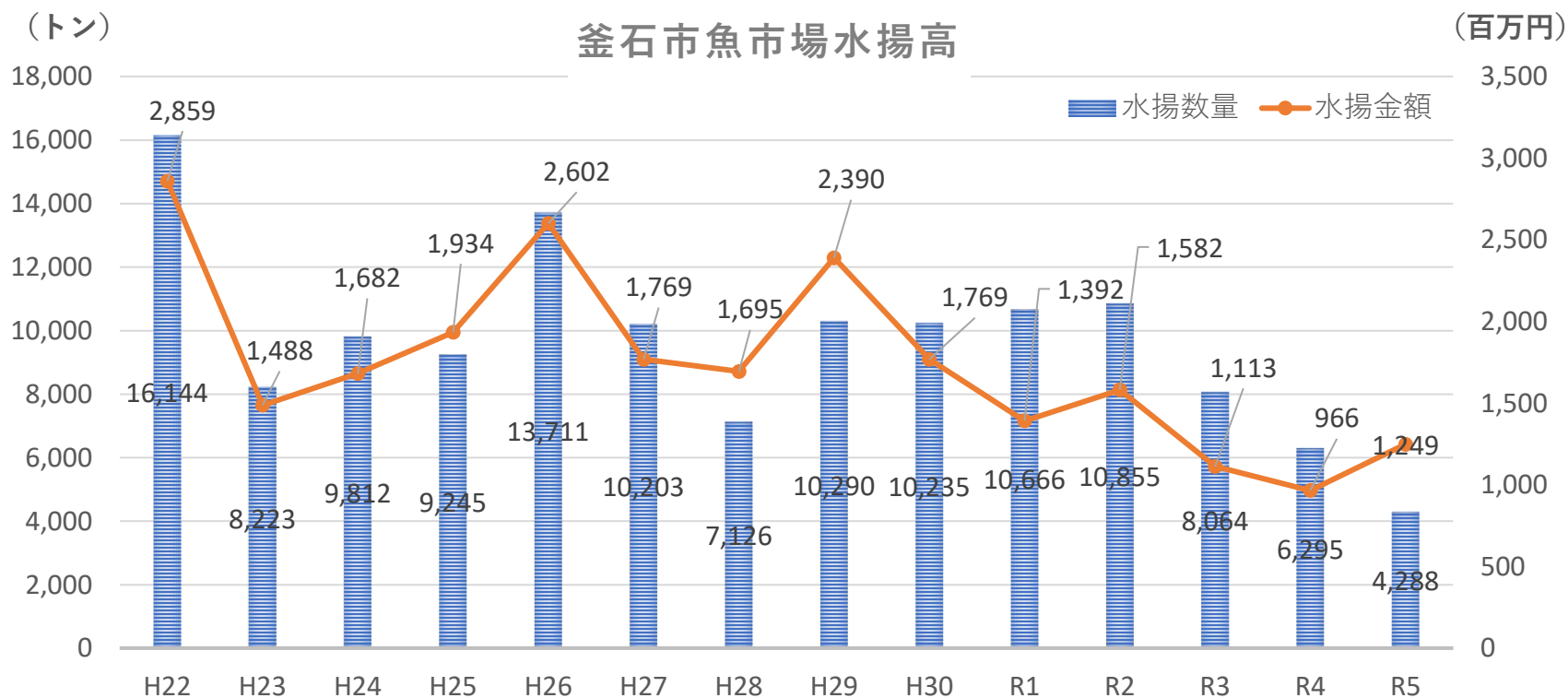


(1) 水産施策等に係る現状報告

ア 釜石市魚市場の水揚げ等について

### 釜石市魚市場水揚状況



出典：釜石市漁業協同組合連合会作成  
地方卸売市場水揚統計

#### 【参考】令和5年度(R6.2月末時点の状況)

- 数量:4,288トン (対前年同期 ▲1,263トン)
- 金額:1,249百万円 (対前年同期 +347百万円)

#### ○主な要因 ※( )は対前年同期比較値

- ・養殖業:事業化に伴うサクラマスが生産が本格化【数量162トン、金額131百万円(+127トン、+98百万円)】
- ・かご漁:タコ類が豊漁【数量 267トン、金額 377百万円(+192トン、+293百万円)】
- ・サンマ:日本近海に漁場が形成(小サイズ多)【数量 339トン、金額 129百万円(+136トン、+4百万円)】
- ・定置網:全体的な水揚量の減少に加え、金島漁場の急潮被害による休止など【2,989トン、494百万円(▲1,432トン、▲20百万円)】

## 市漁連・買受人組合・市による釜石市魚市場への水揚げの継続依頼及び誘致活動

### ■廻来船（水揚げへの御礼及び継続依頼）

○令和5年7月 旋網船及びサンマ棒受け網漁船事業者 3社

⇒令和5年度も水揚げを継続していただいた。

⇒新たな漁船の誘致は、受け入れ体制も併せて整備することが必要。

### ■市内トロール漁業事業者（意見交換及び釜石市魚市場への水揚げ誘致）

○令和5年7月、8月 トロール漁業事業者 3社

⇒トロール漁船側のこれまでに築き上げられてきた他魚市場との関係性、操業体制等をすぐに変えることは厳しく、相当な時間を要すると感じる。

⇒受け入れ側の体制の改善も必要。

### ■地元漁船（水揚げへの御礼及び継続依頼）

○令和5年 5月、8月、11月 小型漁船漁業者 31名、優良漁船漁業者 8名

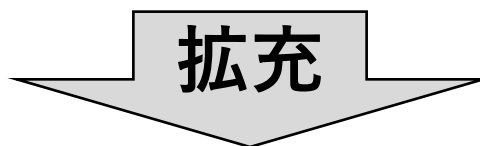
⇒対面での対応は歓迎されているように感じる。

⇒訪問することで疎遠になっていた漁業者が水揚げしたという実績もあり、継続は必要。

## 漁船の氷購入経費に対する補助の対象漁船を拡充

令和4年度までは旋網船及びサンマ棒受け網漁船において一定数の水揚げがあり、その漁船が購入する氷代に対し助成を行ってありますが、令和5年度から対象漁船を地元漁船及び廻来漁船（市外に船籍のある漁船）まで拡充し、経費軽減を図ることで地元漁船や廻来漁船の入港を促進し、水揚げ増加を図るもの。

対象漁船	助成内容	条件
旋網漁船	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷購入費用の3分の1以内の額（1,000円未満切り捨て）</li> <li>・1隻当たり年間50万円を限度</li> </ul>	魚市場に年間500万円以上水揚げかつ 釜石市漁業協同組合連合会から氷を購入
サンマ棒受け網漁船		



対象漁船	助成内容	条件
旋網漁船	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷購入費用の3分の1以内の額（1,000円未満切り捨て）</li> <li>・1隻当たり年間50万円を限度</li> </ul>	魚市場に年間500万円以上水揚げかつ 釜石市漁業協同組合連合会から氷を購入
サンマ棒受け網漁船		
地元漁船	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷購入費用の3分の1以内の額（1,000円未満切り捨て）</li> <li>・1隻当たり年間20万円を限度</li> </ul>	
廻来漁船		